



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三須 和泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811
 C F O 財務・経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,112	2.8	439	10.1	439	10.3	333	30.8
2019年12月期第1四半期	5,943	—	399	—	398	—	254	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	47.30	—
2019年12月期第1四半期	35.99	—

(注) 2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	19,329	10,977	56.8
2019年12月期	19,169	10,827	56.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 10,977百万円 2019年12月期 10,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	30.00	—	15.00	—
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	15.00	—	17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2019年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2019年12月期の1株当たり年間配当金は、30円00銭となります。

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	3.5	400	△20.0	400	△21.0	250	5.4	35.45
通期	25,000	4.0	1,080	16.9	1,100	9.2	740	13.5	104.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	7,657,802株	2019年12月期	7,657,802株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	606,270株	2019年12月期	606,250株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 1 Q	7,051,538株	2019年12月期 1 Q	7,085,220株

- ※ 1. 2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
- 2. 期末自己株式数には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の保有する当社株式(2020年12月期第1四半期103,600株、2019年12月期103,600株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（以下、「当第1四半期」）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移していました。しかしながら、3月に入り国内外での新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化し、厳しい状況となるとともに、感染拡大の懸念と防止から外出自粛が始まり個人消費も弱い動きとなり、景気の先行きは不透明な状態となっております。

キャンディ市場におきましては、飴カテゴリーがドラッグストアチャネルを中心に前年同期比増加となる一方で、グミカテゴリーが外出自粛や在宅勤務による行楽需要・オフィス需要の減少等の影響を受けて、前年同期比減少となりました。

このような事業環境下、当社では中期経営計画「NewKANRO 2021」の最終年度である2021年に売上高260億円、ROE10%以上の達成に向け、「成長戦略」と「経営基盤の強化」の両輪の施策を推進しております。

当第1四半期の販売面では、飴は袋・スティック形態が減少するも、コンパクトサイズがさらに伸長し、前年同期比増加となり、製品別では、「健康のど飴たかかうマヌカハニー」が市場で評価され増収を牽引いたしました。グミは、市場が減少する状況下、主力ブランドに成長した「カンデミーナグミ」が引続き好調に推移するとともに、「あそぼん!グミ」「100%GUMMYりんご」等の新製品発売により前年同期比増加となりました。素材菓子は、コンビニエンスストアでのプライベートブランド化が進んだこと等により、前年同期比減少となりました。この結果、当第1四半期の売上高は前年同期比1億68百万円(2.8%)増収の61億12百万円となりました。

利益面では、売上総利益は、労務費の増加、生産設備への投資等により固定費は増加したものの、増収による限界利益の増加により、前年同期比96百万円(3.3%)増益の29億79百万円となりました。

営業利益は、販売促進費や人件費が増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でサンプリングなどの広告宣伝や研究・調査の一部が延期になったことなどにより前年同期比40百万円(10.1%)増益の4億39百万円、経常利益は前年同期比41百万円(10.3%)増益の4億39百万円となりました。

また、政策保有株式の縮減による一部銘柄の売却に伴い投資有価証券売却益47百万円を計上したこと、及び前年同期に計上した減損損失の反動により四半期純利益は前年同期比78百万円(30.8%)増益の3億33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1億60百万円(0.8%)増加し193億29百万円となりました。

これは主に現金及び預金が1億37百万円、商品及び製品が1億67百万円、有形固定資産が4億51百万円増加しましたが、売掛金が4億40百万円、投資有価証券が1億55百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ10百万円(0.1%)増加し83億51百万円となりました。

これは主に未払金が6億61百万円増加しましたが、短期借入金97百万円、未払費用が2億4百万円、賞与引当金が2億54百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ1億50百万円(1.4%)増加し109億77百万円となりました。これは主に四半期純利益3億33百万円の計上による増加と配当金1億7百万円の支払いによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、2020年2月12日に発表いたしました内容から変更はありません。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

(現時点における事業活動への影響について)

当社では、農林水産省からの食品の安定供給確保の要請に応じ、食品メーカーとして製品を安定供給すべく、工場については感染症対策を強化しながら通常稼働し、生産を継続しております。また、本社・豊洲研究所・全支店では原則在宅勤務としております。

(財務への影響について)

当社では、現状において事業活動に必要な手許資金を保有しており、資金調達手段についても確保しているため、特段事業活動に影響を与えることはないと考えております。

(企業活動への影響について)

今後、当社従業員から新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合には、企業活動を一時的に停止する可能性があります。

(需要動向について)

緊急事態宣言がさらに継続した場合や、解除後も「新しい生活様式」への変化により、オフィス需要が減少しコンビニエンスストアチャネルでの需要が減少するなどマイナスの影響を受ける一方、在宅勤務の増加によりスーパーマーケット・ドラッグストアチャネルでの需要が増加するなどプラスの影響も予想されます。

(原料調達について)

国内外での感染が拡大するなか、海外からの原料供給が滞り、原料の供給不安に陥る可能性があります。当社では、原料供給が著しく滞った場合には、代替原料への切替を行うべく準備を整えております。また、マスク・消毒液等の衛生用品も当面の生産活動に必要な数量を確保しており、安全・安心な製品が供給できるよう努めてまいります。

(今後の見通し)

4月7日に発出された緊急事態宣言の対象が4月16日には全都道府県に及び、5月14日に部分解除されたものの、今後の需要動向の変化による業績への影響が大きくなることも予想されます。しかしながら、現時点で当社の業績に与える影響額を算定することが極めて困難であるため、2020年2月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。当社では、引続き新型コロナウイルス感染症に関する情報収集及びリスク低減・回避に向けた対応を実施するとともに、製品の安定的な生産及び供給を図るよう努めてまいります。

また、事業活動及び業績に新たに大きな影響等が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,490,990	1,628,485
売掛金	6,250,709	5,810,088
商品及び製品	637,370	805,129
仕掛品	3,332	73,046
原材料及び貯蔵品	213,949	251,190
その他	139,742	138,244
流動資産合計	8,736,095	8,706,184
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,596,442	6,617,360
減価償却累計額	△3,271,141	△3,330,912
建物(純額)	3,325,300	3,286,448
機械及び装置	11,754,578	12,147,671
減価償却累計額	△8,911,306	△8,818,106
機械及び装置(純額)	2,843,272	3,329,565
土地	1,497,709	1,497,709
その他	2,550,417	2,559,260
減価償却累計額	△1,867,667	△1,908,229
その他(純額)	682,750	651,030
建設仮勘定	142,127	177,980
有形固定資産合計	8,491,160	8,942,734
無形固定資産	197,530	184,191
投資その他の資産		
投資有価証券	431,054	275,458
繰延税金資産	857,862	771,246
その他	455,804	450,066
投資その他の資産合計	1,744,721	1,496,771
固定資産合計	10,433,411	10,623,697
資産合計	19,169,506	19,329,882

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,692,176	1,784,342
短期借入金	792,500	695,000
未払金	632,351	1,294,105
未払費用	1,806,627	1,602,283
未払法人税等	75,631	53,451
賞与引当金	608,183	353,756
役員賞与引当金	67,300	19,850
その他	371,246	279,251
流動負債合計	6,046,016	6,082,040
固定負債		
退職給付引当金	2,060,659	2,057,183
役員株式給付引当金	90,444	100,542
その他	144,579	112,152
固定負債合計	2,295,684	2,269,878
負債合計	8,341,700	8,351,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,550,983	2,550,983
利益剰余金	5,934,020	6,160,205
自己株式	△653,088	△653,119
株主資本合計	10,696,165	10,922,319
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131,640	55,643
評価・換算差額等合計	131,640	55,643
純資産合計	10,827,806	10,977,963
負債純資産合計	19,169,506	19,329,882

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	5,943,121	6,112,090
売上原価	3,060,316	3,133,048
売上総利益	2,882,805	2,979,041
販売費及び一般管理費	2,483,376	2,539,459
営業利益	399,428	439,581
営業外収益		
受取利息	35	25
受取配当金	16	—
売電収入	1,249	1,790
その他	2,136	921
営業外収益合計	3,438	2,737
営業外費用		
支払利息	2,005	834
売電費用	1,354	1,352
その他	892	335
営業外費用合計	4,251	2,522
経常利益	398,615	439,796
特別利益		
投資有価証券売却益	—	47,882
特別利益合計	—	47,882
特別損失		
固定資産除却損	15	174
減損損失	15,285	359
特別損失合計	15,301	534
税引前四半期純利益	383,314	487,144
法人税、住民税及び事業税	17,013	33,507
法人税等調整額	111,309	120,124
法人税等合計	128,322	153,632
四半期純利益	254,991	333,512

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。